

第 6 回懇談会の主な意見等

＜改築規模について・配置計画について・施設複合化の効果について＞

- 今後、1 学級の人数変更や、地域の子供たちの数の増加など、予測が難しい部分もあるが、学級数の設定や教室の使い方は柔軟に余裕を持って考えてほしい。
- 現状でも、学校と地域の交流は行われている。中学校は単独で教室などの機能を担保するべきではないか。
- 学級数の設定には現実の状況も考慮してほしい。また、特別支援の教室の充実も考えてほしい。
- 保育園のことを考えると、パターン①と思うが、中学校に通わせる保護者としてはパターン③もメリットを感じる。保育園がどうなるのかというのを含め、素人で判断するのが非常に難しいと感じた。細かい点も含め聞いていきたい。
- 図書館は、さざんかステップアップ教室や防災に関する役割などがあるため、図書館ではない何か用足しができるような施設を複合すれば使いやすいのではないか。
- 今後の話の中で、避難場所としての役割も検討してほしい。
- 図書館に何か複合する場合はさざんか教室のような小学生も含めて地域の子供が学校以外で勉強できるような場所がほしい。
- 図書館と集会室を複合化するパターン③の場合、高齢者や乳幼児の移動に配慮した階数を考えてほしい。
- パターン③の場合、中学校は中学校の改築としてどのように校舎を新たにやっていくかだけではなく、DX 化を含めた地域コミュニティとしての図書館や集会室のあり方を含めて話を進める必要があるのではないか。